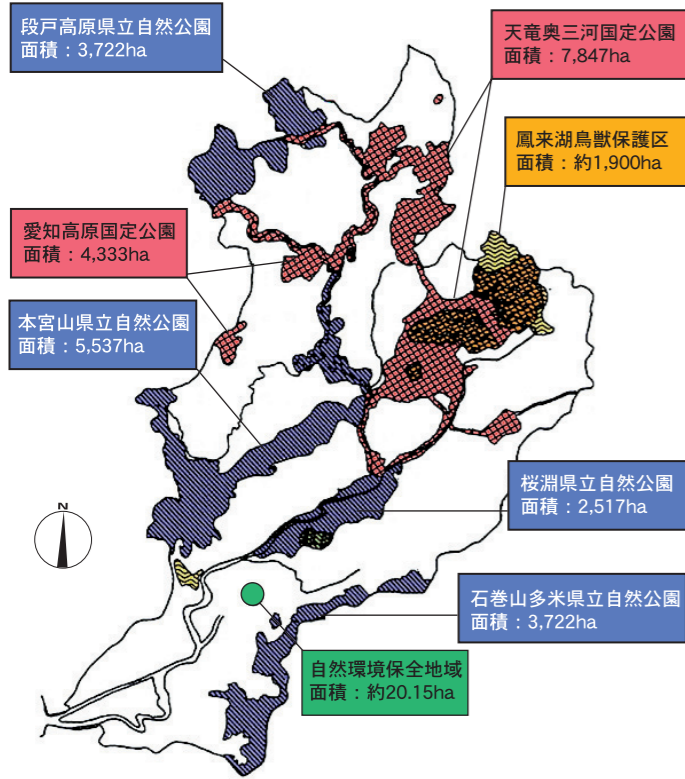


豊かな河川環境

源流の段戸山から河口まで、険しい渓谷を流れたり、平野を蛇行して流れたり、河口部を広くゆったりと流れたり、豊川は川らしい、いろいろな流れの姿を見せてくれます。そして清らかな水と豊かな緑がすばらしい景観を形成し、多くの生物を育てています。

流域の自然環境

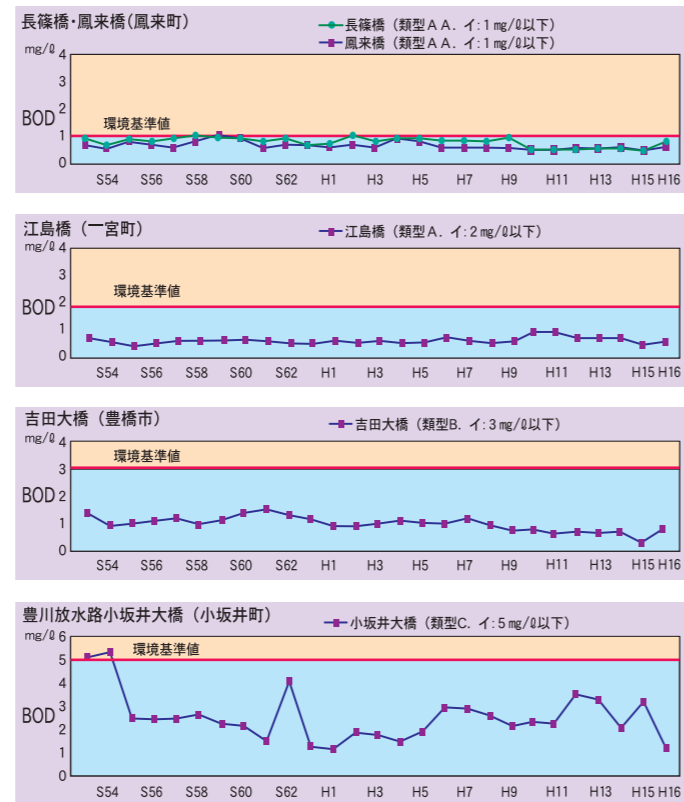
豊川流域は、流域の約40%が国定公園もしくは自然公園に指定されています。



自然公園等分布図

豊川の水質

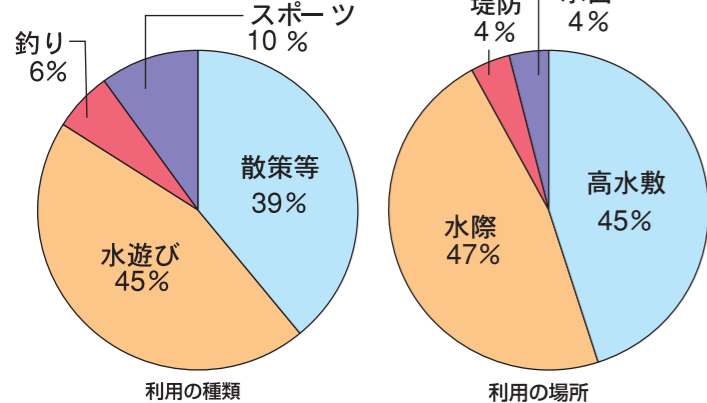
豊川の水質は環境基準をほぼ満たし、良好な水質を維持しています。しかし、河口部や豊川放水路では、しばしば赤潮が発生しています。



生物化学的酸素要求量(BOD)の経年変化(75%値)

豊川とのふれあい

豊川は自然の美しい景観を残しながら、河川公園やスポーツ広場などの利用施設も整備されています。豊川の年間河川利用者数は約80万人と推定され、「夏の水遊び利用者数(1kmあたり)」において、全国1位(平成15年)でした。



出典:平成15年豊川・矢作川河川空間利用実態調査

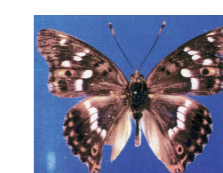
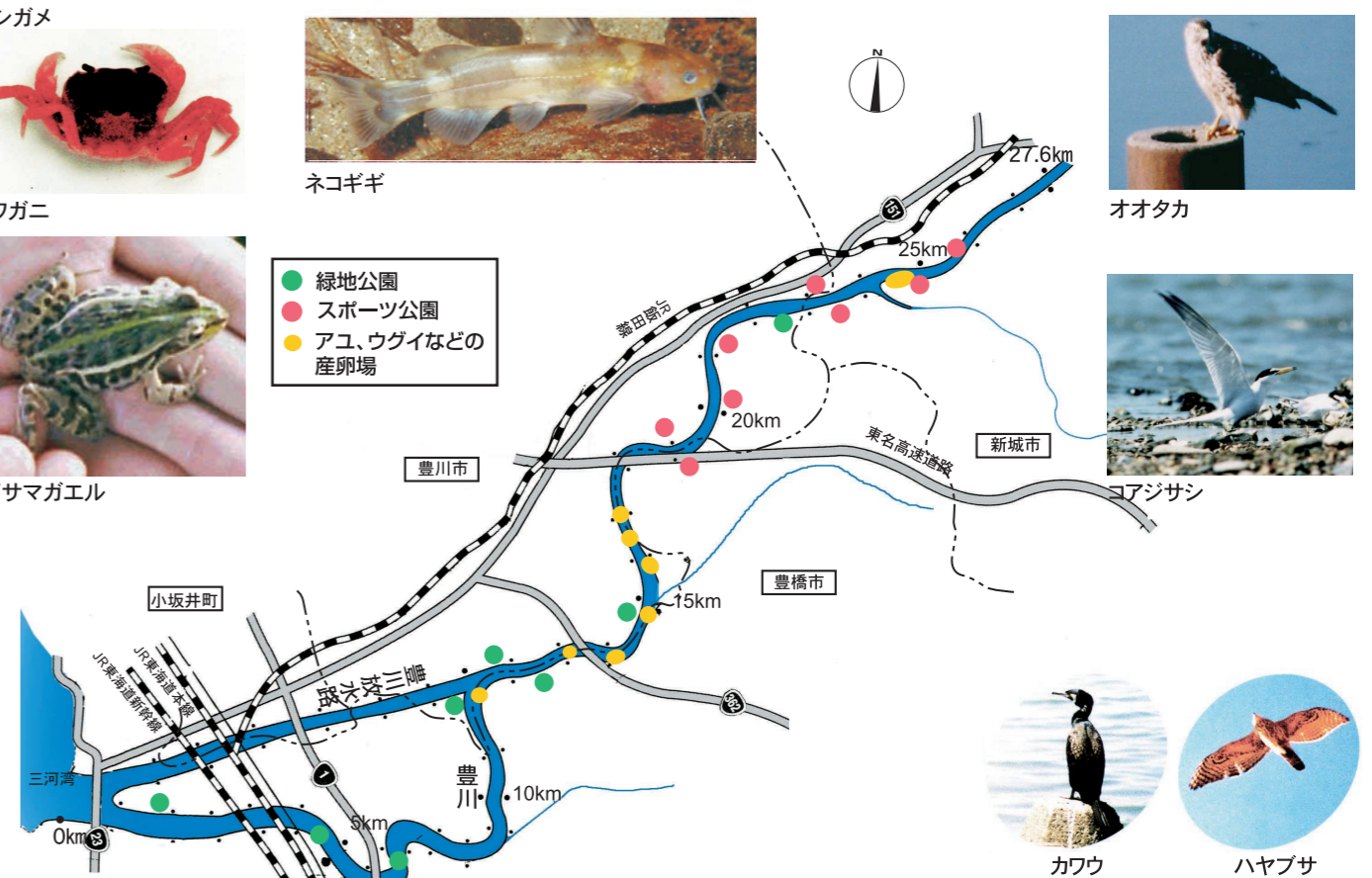


豊川の植生と生き物

上流域においては、国の天然記念物であるネコギギをはじめ、猛禽類であるクマタカ等が生息しています。また、新城橋より下流においては、50種を越える魚介類や100種を越える鳥類、約700種の植物など、多くの動植物が生息しています。(平成13年調査)



- 緑地公園
- スポーツ公園
- アユ、ウグイなどの産卵場



洪水にも渇水にも強く、自然豊かで親しまれる豊川を目指して

洪水にも渇水にも強く、しっかりと人々の生活を支え、美しい景観、多くの動植物など、水と緑をつくり上げていくために、「豊川水系河川整備計画」では、整備の目標や実施する施策を次のようにしています。

豊川のかかえる課題

豊川の目指す川づくり (豊川水系河川整備計画の目標)

そのために実施します

災害への備えは?

● 洪水に対して

現在でも昭和44年8月の洪水が再来すると、大きな被害が発生する恐れがあります。また、霞堤地区では中小洪水でも浸水被害がたびたび発生しています。

● 内水に対して

下流域では、洪水時に豊川の水位が高い時、地区内に降った雨の排水ができず、浸水しています。



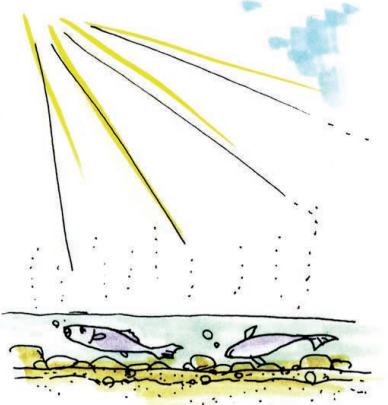
● 地震に対して

地震により、堤防に被害が生じ、浸水するおそれのある区間が残っています。

水利用等への対応は?

● 河川の流量に対して

渇水時は河川流量が著しく減少するため、水道用水の水質や、魚類などに大きな影響を及ぼしています。



● 水利用に対して

豊川では毎年のように取水制限が行われています。このため水道の減圧給水、工場の生産調整、農作物の発育不良等が生じています。

河川環境の保全と改善は?

● 河川環境の保全に対して

河川改修が、豊川の良好な自然環境や景観に影響を与えることが考えられます。

● 河川環境の改善に対して

本川河口部や豊川放水路で、赤潮などの水質問題が見られたり、豊川放水路の景観改善が求められています。



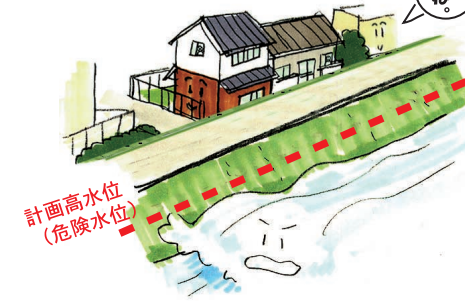
● 河川空間の利用に対して

河川の自然環境保全と河川空間利用の調和が必要です。

より安全な豊川へ

● 洪水による被害の軽減

戦後最大流量となった昭和44全川で計画高水位(危険水位)を防止するとともに、霞堤地区の基本高水相当(150年に1回)の洪水が再来した場合の水位を、ほぼ下に低下させ、破堤等による甚大な被害を浸水被害を軽減します。さらに、水に対しても被害を軽減します。



● 内水氾濫による床上浸水等の被害の軽減

内水地区の床上浸水等の被害を軽減します。

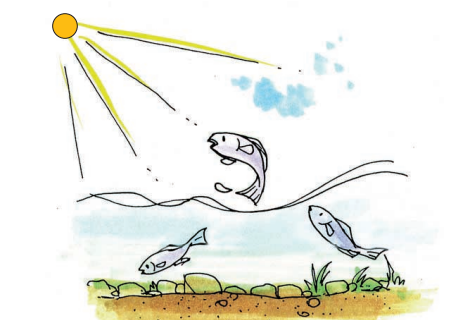
● 地震2次災害の軽減

地震により被災した堤防からの浸水などによる被害を軽減します。

渇水に強い豊川へ

● 河川環境保全のために必要な水量の確保

豊川に生息する動植物を保護し、景観や水質を保全するために、渇水時においても主要な取水施設の下流に一定量以上の水量が流れるようにします。



● 既得用水の安定取水

10年に1回程度発生する規模の渇水に対しても、安定して取水できるようにします。

自然豊かで親しまれる豊川へ

● 豊かな自然環境の保全

河川の整備に際しては、環境への影響をできる限り少なくします。

● 水質の保全、川らしい景観の創出

関係機関と連携し流域一体となって、良好な水質を引き続き保全します。また、豊川放水路等については良好な河川環境を復元・形成するなど環境整備を行います。



● 河川環境の保全と利用の調和

沿川自治体と連携しながら、河川環境の保全と調和のとれた利用に努めます。また、川を学習の場と

河川環境の保全と調和のとれた利用に努めて整備・保全に努めます。

